

# 自彊前進

題字 西村直子

NO. 12 令和5年6月1日(木)

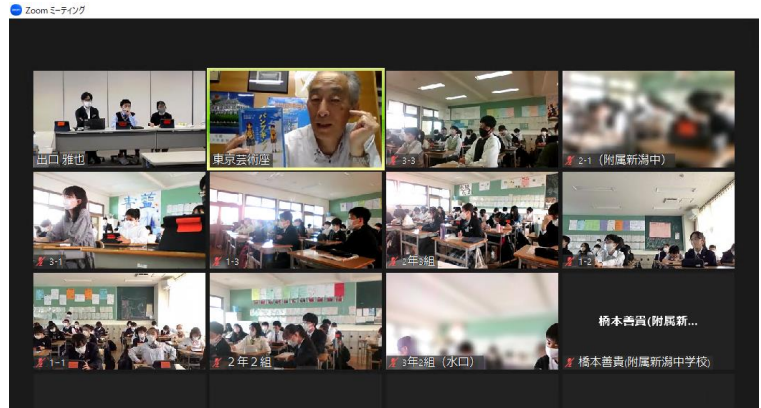
新潟大学附属新潟中学校 学校だより

文責 教頭

※ 自彊前進…自ら努め励み、前へ進むこと  
(校歌3番の文言から)

## 題材選定教室行われる

ときわ体育祭の興奮冷めやらぬ中、すでに演劇に向けての活動が始まっています。各学級、学年では、すでに演劇三役が選出されているようです。今週、題材選定教室が行われました(右写真参照)。これまで行っていなかった新しい取組です。6月29日(木)の演劇鑑賞教室で演目「パンプキン」を公演してくださる東京芸術座代表北原さんにオンラインで参加いただき、様々な質問に答えていただきました。



昨年の演劇鑑賞教室は、東京演劇集団「風」による「ヘレン・ケラー〜ひびき合うものたち」でした。終了後、演劇の三役を中心に、劇団の人に質問をする会が設けられ、参加した生徒たちは、矢継ぎ早に、劇団の方に様々な質問をしていました(右写真参照)。



公演後、劇団の方々からお手紙をいただきました。右は、アニー・サリバン役の渋谷さんからいただいた手紙です。附中生の様子によほど感激したようで、そのことを描写してくださっています。

今年度の演劇発表会は9月15日(金)に実施いたします。演劇発表会は、昭和25年から続く当校で最も歴史の長い行事で、今年度で第64回を数えるようです。これから題材選定が行われますね。かねてより、「題材で8割決まる」と言われています。各学級、学年で思う存分話し合い、適切な題材を選んでいきましょう。

出口雅也 様

紫陽花が綺麗に咲く季節となりました。お元気ですか。出口先生、ヘレン・ケラーの公演では大変お世話になりました。附属新潟中学校の生徒さんたちが、大きな情熱を胸にキラキラと輝く瞳で舞台を一緒につくりあげたことが、私たちにとって心に深く残る公演でした。一瞬たりとも逃すまいと食い入るように見つめる姿、あれもこれも、どれも知りたいと知的好奇心をその体から溢れんばかりに發揮させて声をかけてくれる表情。今という時間を思い切り生きようとする彼らからたくさんの刺激をもらいました。9月の発表まで多くの経験を経て、今だからこそ感じる喜びや迷いがみなさんの力の源となりますように。そして今回の出会いが少しでもこれからの何かへとつながることを願っています。本当にありがとうございました。また再会できますように。 アニー・サリバン役 渋谷 愛